



SUZUKI・Y 250 改・Yajima special

遥かなる青空の彼方に

日本一周 Vol.03

1978年8月11日~1982年8月17日

遥かなる青空の彼方に 其の参

<http://p.booklog.jp/book/35479>

著者 : lauriercb4004in1

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/lauriercb4004in1/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/35479>

ブックログのpapier本棚へ入れる

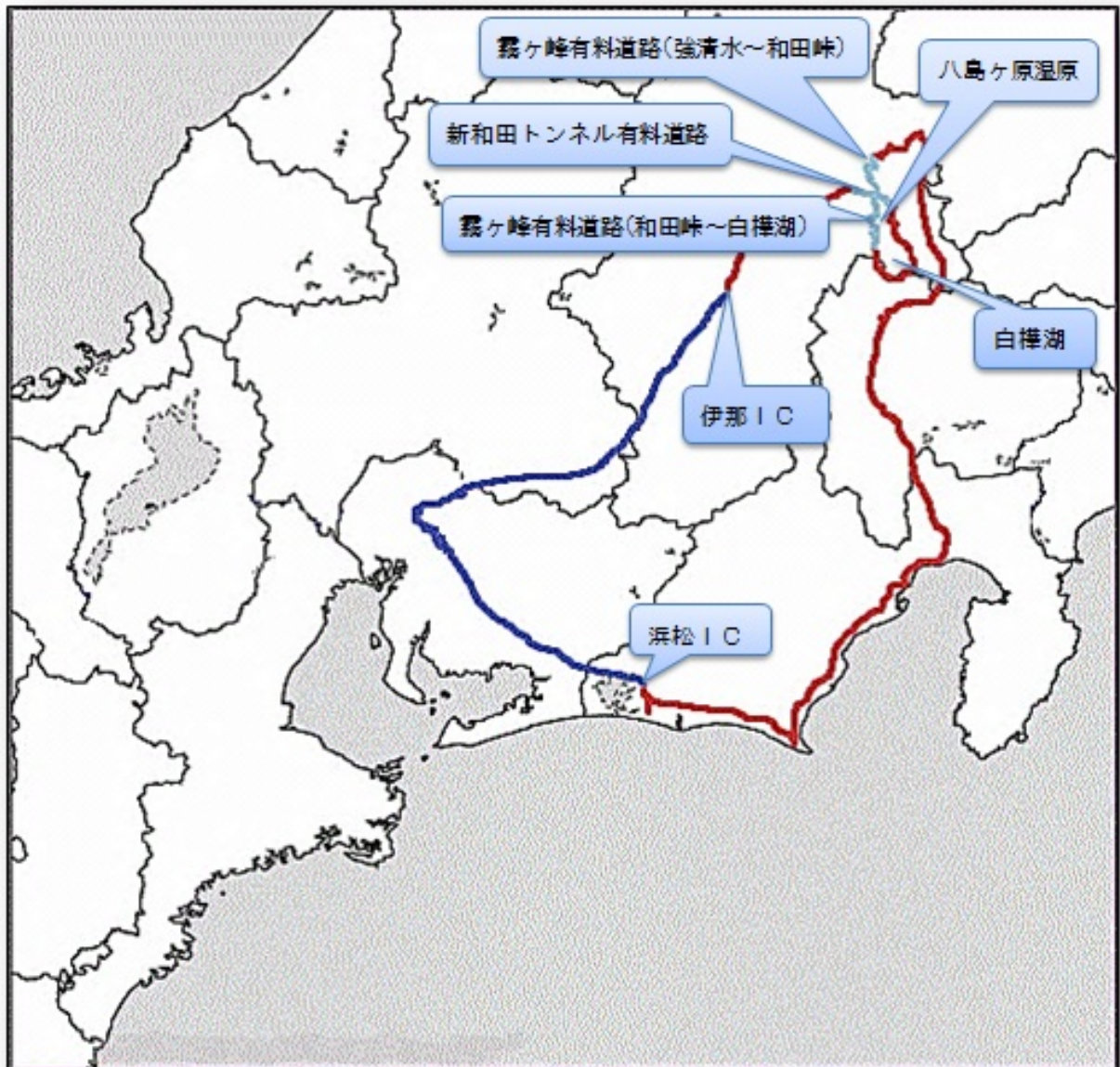
<http://booklog.jp/puboo/book/35479>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

諏訪湖 編(1978年 10月8日~9日)

全走行経路



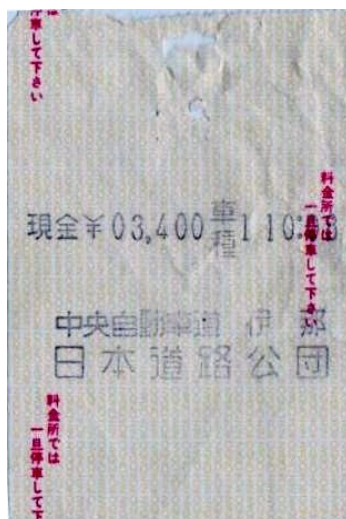
全走行距離 759.5km・燃費 不明

1978年 10月8日(日) 晴れ

本日から、2泊3日の諏訪湖までのツーリングの旅に出る。

CB400・FOURの走行距離は、10,0107km。

浜松I・Cから東名高速道路を走り名神高速道路を經由して中央高速道路・伊那I・Cで降りる。



(高速道路の領収書)

中央高速道路は、伊那市より先は未完成で飯田市から山の中の道を走るが本当に、これが国道？と思うくらいの細い山道で標識を信じながら国道256を走って諏訪湖を目指すが国道256に入って、すぐに道に迷ってしまう。

あと少しそのまま走っていたら南アルプス・スーパー林道に入ってしまう所だった。

まあ！道に迷うのは、いつもの事だが自分自身で呆れてしまう。

国道256を戻り、国道153で駒ヶ岳市を目指す。

国道153は、至る所で工事をしていて道幅が急に狭く成ったり未舗装成る。(遠くに雪の被った中央アルプスが見える)

駒ヶ岳市を過ぎて、国道153から山の中の細い道の県道50(有賀峠)で諏訪湖

[Y1]の湖畔に何とか無事に辿り着く諏訪湖から流れでる天竜川の最上流の水門を見る

。

国道20で湖畔沿いを走り、国道142で上諏訪大社(春の宮)[Y2]を目指していたが場所が分らず諦める国道142を戻り下諏訪大社(秋の宮)[Y3]に向かう。(走り出すと鼻水が出る！寒い・・・)

[Y1] 諏訪湖

【諏訪湖の湖底には、武田信玄の水中墓伝説がある。武田信玄が死に際して「自分の死を三年間秘密にし遺骨は、甲冑を着せて諏訪湖に沈めよ」と遺言をしたとの説が、広く流布されており『甲陽軍艦(こうようぐんかん) (甲斐国の武田氏の戦略・戦術を記した軍学書)』にも同様な記述がある。】

【諏訪湖伝説では、湖底に一辺が八尺二寸（約2.5m）とされる菱形の物体あり自然に出来たとは思えない程、はっきりと形をしてると言い伝えが残っている】

[Y2] 上諏訪大社（春の宮）

【上諏訪大社（春の宮）の近くに「万治の石仏」があって、日本のモアイ像とも言われている】

[Y3] 下諏訪大社（秋の宮）

【諏訪大社の四本の御柱には沢山の説があり、諏訪大社は神殿を持たない大社で、四本の御柱が神殿の名残りとか・巨木信仰で祖先の霊を祭るトーテムポール・結界の為の柱・世界の四隅は四本の柱に支えられている神話を形を現した説】

下諏訪大社（秋の宮）に着いて絵馬を買う、さすがに立派な大社だ。
四本の御柱を探して、これが！御柱か～あ、と感心する。

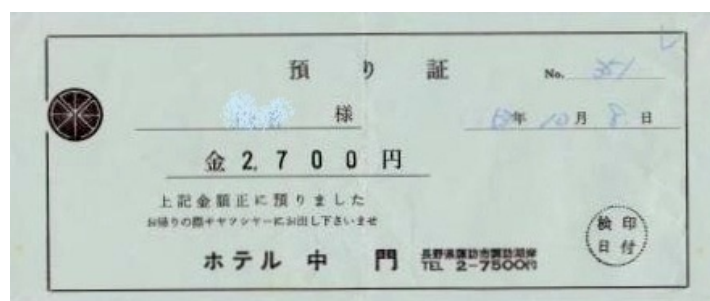


(諏訪大社)

上諏訪大社（春の宮）を明日もう一度、探して見から無ければ諦めて八島ヶ原湿原へ行くつもりだ日が沈んで気温が下がる前に今日の宿を探す。

今日の宿はすぐに見つかり諏訪湖の湖畔にあるビジネス・ホテル「中門」(¥2,700)にチェック・インして、まだ外が明るいので諏訪湖の近くに高島城が在るので見に行く天守閣と堀が残っていて立派な城だった。

あと少しで、日が沈む外は気温が下がり寒い息が白くなる。



(ホテルの領収書)



(高島城)



(ホテルから見た諏訪湖)

同じホテルに、ヤマハ・スペシャル400も泊まって、その人と少し話をしてから家に電話を掛ける。

いつもの事だが行き先を言わずに家を出たので『おかあ〜ちゃん』文句を言われてしまった。

ビールを飲んで寝る！



(ホテルの駐車場)

全走行距離 363.7 km・燃費 22 km/l

10月9日（月） 晴れのち曇り

朝、一番に上諏訪大社（春の宮）を探しに国道142を走るが住宅街入り、どうしても場所が分からないので地元のおじさんに道を聞き、ようやく上諏訪大社（春の宮）に到着、上諏訪大社（春の宮）にオートバイを置いて万治（まんじ）の仏像まで歩いて行く。

探すのに苦労したが様やっと発見！川を挟んだ畑の中に仏像はあった。



（万治の石仏）

万治の仏像の写真を撮って上諏訪大社をあとにし、国道20から国道142を通り新和田峠トンネル（¥400）を通過して高原の道をしばらく走ると八島ヶ原湿原に出た。



（有料道路の領収書）



(八島ヶ湿原)

なかなかの湿原だけど、さすがに高原！この時期は、寒い！

売店で缶コーヒーを買ってタバコに火を付け一服してから次の目的地、白樺湖へ向かう。

高原をオートバイで、この時期に走るの革ジャンとジーパンだけでは寒い指先の感覚が無くなって痛くなる。

霧ヶ峰有料道路（¥300）・強清水～和田峠区間を通過して白樺湖に着く白樺の木に囲まれて美しい湖、季節外れなので観光客は少なく静かだ。



(有料道路の領収書)



(ビーナスラインの通り過ぎりのライダーを流し撮り)

湖畔の売店で、記念のお土産を買ってから白樺湖をあとにし、整備された景色の良い道を通って、霧ヶ峰有料道路(¥400)・白樺湖から強清水区間の有料道路を走り抜けて麦草峠へと向かう。

来る季節が夏だったら高原の涼しさを体験できたのに今の時期は・・・。



(有料道路の領収書)



(白樺湖)

麦草峠では、未熟な運転技術のくせに調子に乗ってスピードを出し過ぎたと思った瞬間

！

コーナーを曲がり切れずに道から飛び出してしまった。

運が良かったのか土の柔らかな所で怪我は、しなかったが倒れたオートバイを起こそうとすると腐葉土の溜まった場所なので土が柔らかく足が沈んでしまい俺の一人の力では、オートバイを引きずり出す事が出来なかった。

途方に暮れていると、そこに軽トラに乗ったおじさんが通り掛かり事情を話して二人掛かりでオートバイを引きずり出した、途中のドライブ・インで昼食を食べながら、さっきの事を思い出して深く反省。

今、思い起こせばこれが悪夢の始まり怪我もなく、オートバイのダメージも無く済んだのに気付くべきだった。

今日は気を付けろ！と言う警告だと・・・。

昼食後、美しくの森までオートバイを走らせ駐車場まで行ったが駐車場から公園まで、すぐ近くだと思っていたがブーツで歩くのには、かなり距離があるので諦める。

売店に寄って、お土産を買おうと思いい中に入るとアベックだらけ・・・。

美しくの森から国道141を南下し、身延町を目指して白樺の木が延々に続いている森の峠道を走り国道52（身延街道）を南下し、富士川を見ながら静岡市を目指す。

静岡市に入って国道1は渋滞、俺は自動車のすぐ後ろを走っていて緩いカーブに差し掛かった時に派手にコケテしまった。

俺は、オートバイから跳ね飛ばされ横たわったまま、オートバイが火花を出しながらクルクル回っているのを見ていた。（後ろを走っていた車の人、ビックリしただろうなあ！）

怪我は革ジャンのお陰で軽く左の腕を擦りむいただけで、オートバイは左のミラーが折れ、スピード・メーターのメッキ部分がへこんでしまった。

折れたミラーを拾って、オートバイを起こして路肩で擦りむいた腕にバンエイドを貼って、しばらく休憩。（オートバイのダメージの確認をする）

気を取り直して、コケタ原因を知りたくてカーブまで歩いて見に行ったら何と！道路一面がO I Lで濡れていた。（俺のオートバイは、点検したがO I L漏れは無かった）

起きてしまった事は、仕方が無いから静岡I・Cに向かって出発。

ハンドルとタイヤの切れ角度がズレて真っ直ぐ走れない！

応急処置でハンドルの切れ角度直す為に前輪をガードレールの柱で叩いて真っ直ぐする。

国道1から静岡I・Cに入り、東名高速道路で浜松に向かう。

100km以上スピードを出すとハンドルが震え出す！（ホイール・バランスが狂ったのか

？高速道路で、こんなにゆっくり走た事が無いスピードで走る)

PM4：40 ごろ無事に家に着く。

1泊2日のツーリング今年のツーリングは終わり、また春になったらツーリングに行くぞ！

俺は、ツーリングに出かける度にオートバイに傷を増やしてしまう。

でも、その一つ一つが思い出・・・。

全走行距離 395.8 km・燃費 不明